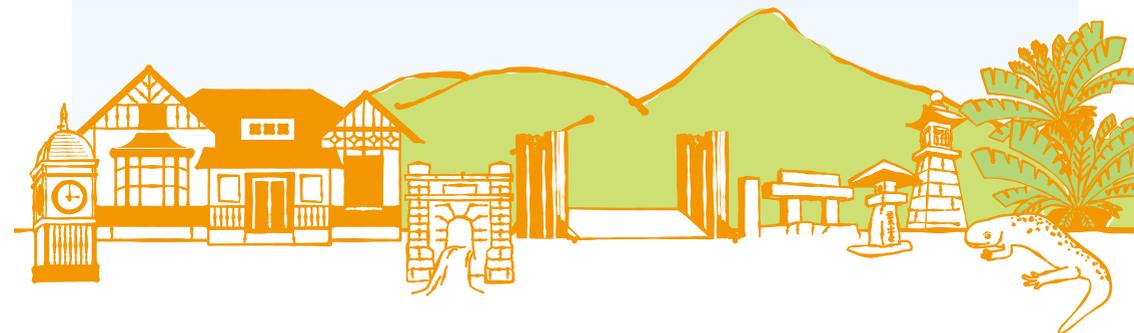


memo

呉の文化財

MAP



1 に こうきょう 二河峡



二河川の河口から上流へ約3.7kmのところに位置し、男滝と女滝を中心に約2.5kmに渡って広がる渓谷。



☁ 荘山田村
♀ 「上二河町」バス停下車 約15分

2 くれし すいどうきょく に こうすいげん ち とりいれぐち 呉市水道局二河水源地取入口



明治23(1890)年に給水開始した、呉鎮守府水道の水源地に造られた石造りの坑門。築造以来、工業用水道事業の水源として利用されている。

☁ 荘山田村
♀ 「上二河町」バス停下車 約15分

3 に こう うわ した い であと 二河(上・下)井手跡



水不足を解消するため庄屋の熊崎新左衛門が中心となり造られた灌漑用水路。享保9(1724)年に下井手(約5.5km)、享保16(1731)年に上井手(約4.2km)が完成。



☁ 荘山田村
♀ 「上二河町」バス停下車 約15分



4 う つのみやもくりんおうしゅうえん ち 宇都宮黙霖翁終焉の地



思想界の先覚者 宇都宮黙霖の終焉の地。明治20年代に澤原為綱の屋敷(長ノ木町)に迎えられ、明治30(1897)年9月15日、74歳(数え年)で亡くなった。



☁ 長ノ木町
♀ 「東中央2丁目」バス停下車 約3分

5 旧澤原家住宅

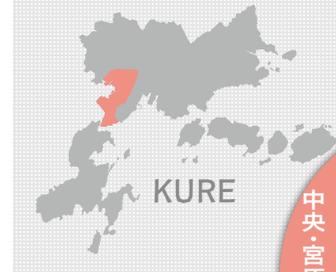
5 旧澤原家住宅



江戸時代中期から現在まで活用されながら保存されており、生活文化史における近代化の変遷の歴史が建物に刻み込まれた歴史的建造物として貴重。



☁ 長ノ木町
♀ 「東中央2丁目」バス停下車 約3分



6 くれし すいどうきょく ひらばらじょうすいじょうていく はいすいち 呉市水道局 平原浄水場低区配水池



呉市から呉海軍鎮守府への嘆願書により大正6(1917)年に築造され、翌年給水開始した、全国各都市の中で34番目の近代水道。



☁ 平原町
♀ 「平原水源池前」バス停下車 約1分

中央宮原・誓固屋
昭和天窓・吉浦
郷原
阿賀
広・仁方
川尻
安浦
下蒲刈・蒲刈
豊浜・豊
音戸・倉橋

7 いりふねやまおよ きゅうちょうかんかんしゃ
入船山及び旧長官官舎



呉浦の総氏神の八幡宮（現在の亀山神社）があった穏やかな丘陵地。明治19(1886)年、第2海軍区鎮守府が開設されることになり、軍政会議所兼水交社が建てられ、後に呉鎮守府司令官官舎として利用されてきた。明治建築の遺構が集まった史跡。

幸町(入船山公園内)
「入船山公園」バス停下車 すぐ

9 くれし いりふねやま きねんかん
呉市入船山記念館
旧高鳥砲台火薬庫



明治35(1902)年、陸軍が建設した高鳥砲台跡から移築復元した総石造りの火薬庫。南北棟の切妻造れ葺きで、桁行9.7m、梁間4.2m。

〇 〇 〇 と同様

8 きゅうくれちんじゅ ふ し れいちょうかんかんしゃ
旧呉鎮守府司令長官官舎



呉鎮守府開設に伴い、明治22(1889)年に軍政会議所兼水交社として建てられた。明治38(1905)年の芸予地震によって倒壊後、洋館部と和館部をもつ平屋建てに再建された。

〇 〇 〇 と同様

10 きゅうくれかいぐんこうしょうとう ど けい
旧呉海軍工廠塔時計



大正10(1921)年、旧呉海軍工廠造機部事務所の屋上に設置された時計塔。現在も動いている国産の電動親子式衝動時計としては、最も古いものの1つ。

〇 〇 〇 と同様

11 くれし いりふねやま きねんかんきゅうけいじよ きゅうとうこう けいじゅうたくほな
呉市入船山記念館休憩所(旧東郷家住宅離れ)



東郷平八郎が呉鎮守府第二参謀長在任時の明治23(1890)年5月13日から翌年12月14日までの1年8ヶ月の間利用した居宅の離座敷。

〇 〇 〇 と同様



中央宮原・警固屋
昭和夫成・吉浦
郷原
阿賀
広・仁方
川尻
安浦
下蒲刈・蒲刈
豊浜・豊
音戸・倉橋

12 ごうはらむらぎんせいもんじょ
郷原村近世文書



江戸末期～明治初期の公文書約500点。文政3(1820)年の「一名見概」や山論関係、村の概要を示す差出帳など多様な資料が残されている。

☺ 幸町(入船山記念館)
♀ 「入船山公園」バス停下車 約1分



13 さわはらけぎんせい きんだいしりょう
澤原家近世・近代史料

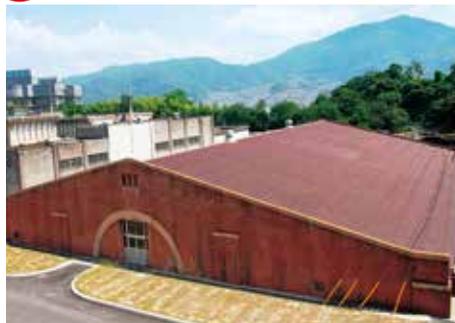


江戸時代後期以降、庄屋・割庄屋、貴族院議員等を歴任してきた澤原家が所蔵する史料。「文化度国郡志」ほか約8千点が保管されている。

☺ ♀ ⑩と同様



18 くれし すいどうまきみやはらじょうすいじょうてい くはいすいち
呉市水道局宮原浄水場低区配水池



呉鎮守府水道は、横浜、函館に続き日本で3番目に給水開始した近代水道で、明治23(1890)年に造られた配水池は、煉瓦造りの上屋を設けており、簡素ながら我が国初期の水道施設の様子を知る上で貴重。

☺ 青山町
♀ 「宮原1丁目」バス停下車 約1分

14 いのうただかみたらいそくりょうのず
伊能忠敬御手洗測量之図



伊能忠敬が文化3(1806)年、御手洗柴屋種次宅に宿泊しながら大崎下島の海岸線の測量を行った様子を描いた絵図。

☺ ♀ ⑩と同様

15 えまきもの うらしまそくりょうのず
絵巻物「浦島測量之図」



伊能忠敬が文化3(1806)年、賀茂郡阿賀村(現呉市阿賀)周辺の海岸線の測量を行った様子を描いた絵巻。

☺ ♀ ⑩と同様



16 あきぐんみやはらむらどうちやうこえず
安芸郡宮原村同町古絵図



元禄4(1691)年から明治13(1880)年にかけて呉湾と呉浦の村々の海岸線の様子を描いた10点の絵図。絵図を通して300年間の呉湾の変化の様子を知ることができる。

☺ ♀ ⑩と同様



紙本墨書後醍醐天皇宸翰心経百九巻
(自明和八年至文化九年)



江戸時代の女性天皇である後醍醐天皇によって、明和8(1771)年から文化9(1812)年にかけて書写され般若心経109巻からなる。

紙本墨書後醍醐天皇宸翰六字名號
(自明和八年至天明七年)



江戸時代の女性天皇である後醍醐天皇によって、上皇時代の明和8(1771)年から天明7(1787)年にかけて書写された一行五段書きの「南無阿弥陀佛」の六字名号である。

刀(銘 備州三原住貞近作 天正三年二月日)

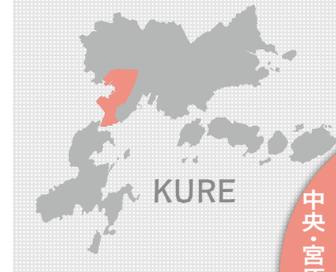


備州三原住貞近作(天正3年2月)で三原の刀工一派の中で最も傑出した桃山時代の作品といわれている。刃長63.4cm、反り2.4cm。



文化14(1817)年、現在の海上自衛隊呉地方総監部海側石段横を出口とする長渠(トンネル式放水路)が建設され、洪水とたたかい治水に精魂を傾けた人々の業績をたたえるため造られた碑。

☺ 宮原4丁目(宮原小学校)
♀ 「子規句碑前」バス停下車 約4分



KURE

中央・宮原・警固屋

昭和・大庭・吉浦

郷原

阿賀

広・仁方

川尻

安浦

下浦刈・浦刈

豊浜・豊

音戸・倉橋

1 みやま たぎ
深山の滝

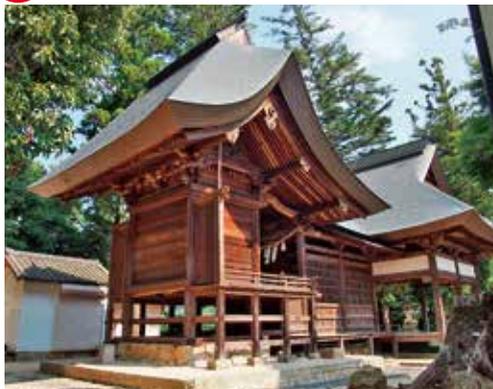


谷頭浸食をすすめているところに形成された上下2段の滝で、下段の滝は幅20mもある黒雲母花崗岩の一枚岩を流れ落ちる見事な滝。



📍 焼山町
🚶 「宮ヶ迫団地入口」バス停下車 約35分

2 むか い ばらじんじゃ ほんでん
向日原神社の本殿



呉市内で最も古い木造建造物の一つ。一間流社造としては規模の大きな社殿で、江戸時代初期から中期はじめ頃の様式を持つ。



📍 押込3丁目
🚶 「押込」バス停下車 約3分

3 むか い ばらじんじゃ へいでんおよ かいでん
向日原神社の幣殿及び拝殿



呉市内で最も古い木造建造物の一つ。中央部に和垂木天井を架け、幣殿の取り付け部に唐破風を施すなど、独特の意匠を持つ。



📍 📍 と同様

4 ほんじょうすいげん ち えんていすいどう し せつ
本庄水源地堰堤水道施設



旧海軍が二河川の本流を遮って築造した貯水池で大正7(1918)年に完成。旧海軍土木技術の粋であるとともに鑄鉄製配管、仕切弁などに至るまで当初の姿が残り、なおかつ現役施設として呉市水道の基幹をなしている点でも価値が高い。

📍 焼山北3丁目
🚶 「水源池前」バス停下車 約3分

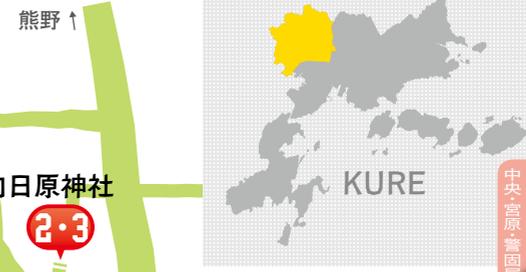
5 たか お じんじゃ
高尾神社のフジノキ



文化財に指定されている藤は東斜面の境内と社叢の境界域にある。基は1株だが、概ね7本の幹に分かれている。



📍 焼山中央2丁目
🚶 「昭和市民センター」バス停下車 約3分



中央宮原・豊原
郷原
阿賀
川尻
安浦
下浦刈・浦刈
豊浜・豊
音戸・倉橋



中央宮原藩国原

昭和・天応・吉浦

郷原

阿賀

広・仁方

川尻

安浦

下浦刈・浦刈

豊浜・豊

音戸・倉橋

8 よしうらはちまんじんじゃ しゃそう 吉浦八幡神社の社叢



アカマツ、クロマツ、ソメイヨシノなどが植えられ、まわりの斜面が社叢となっている。社叢は斜面ごとに植生が異なり、植生の移り変わりの各段階を見ることができる。

市 天然記念物

☞ 吉浦西城町
☞ 「吉浦駅前」バス停下車 約5分

9 せいこうじ ほんしやう 誓光寺の梵鐘

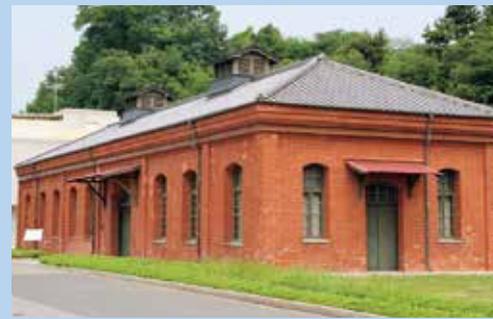


貞享5(1688)年に鑄造され、広島・長安寺に寄進されたものだが、長安寺が火事にあつたため誓光寺に移されたとされている。

市 有形文化財

☞ 吉浦中町2丁目
☞ 「吉浦駅前」バス停下車 約8分

10 きゆうくれいかいぐんこうしやうほうこうぶ かこうしやう きかいしつ かいしやう ほあんだいがっこうれんが (海上保安大学校煉瓦ホール)



大正3(1914)年に呉海軍工廠砲塹部第六工場の施設として建設された。建物の主要構造部、外観部分など建設当時のままの姿が現在まで残っており、かつて海軍の拠点であった呉の歴史を伝える貴重な建物。

市 有形文化財

☞ 呉市若葉町(海上保安大学校)
☞ 「瀬戸見町入口」バス停下車 約5分

6 たなかはちまんじんじゃ しゃそう 田中八幡神社の社叢



クロガネモチ、モッコク、アラカシ、クスノキ、クロマツ、アカマツなどの高木で構成される。階層構造という面から見ると低木層以下が少ないものの、多くの巨樹から成る森林が現在も残されている。

市 天然記念物

☞ 天応宮町
☞ 「大屋橋」バス停下車 約3分

7 たなかはちまんじんじゃ 田中八幡神社のフジノキ



地表からすぐ上のところで数本の幹が連理状にくっついて1本の幹に見える。集合幹の根回りは4.15m、集合幹の長径0.8m、短径0.2m、幹周2m。県下でもまれにみる老樹・大木。

市 天然記念物

☞ ☞ 6と同様



1 たが おじんじや ほんでんおよ ほんら でん
多賀雄神社の本殿及び祓い殿



本殿及び祓い殿は、寛政8(1796)年の造営。本殿の前面に入母屋造り妻入りの祓い殿を接続させて一体に造り上げた独特の社殿形式を持つ。

有形文化財

☺ 苗代町
♀ 「原条」バス停下車 約5分

2 ごうはらちやう
郷原町のエノキ



幹周3.1m、樹高13m、枝張り東西16m、南北13mで推定樹齢は約200年とされている市内最大級の巨樹。

天然記念物

☺ 郷原町
♀ 「苗代」バス停下車 約40分



3 いわやま
岩山

戦国時代の山城跡が残る花崗岩の岩峰(標高約420m)。頂上から黒瀬盆地、賀茂大地、東に野呂山、南に灰ヶ峰、その間に広がる瀬戸内海を展望することができる。

☺ 郷原町
♀ 「空条」バス停下車 約60分



中央宮原繁田屋
昭和・天恩・吉浦



郷原のブチサンショウウオ

ブチサンショウウオは、大積川上流から灰ヶ峰山系一帯の渓流で発見され、水田の間を流下する急傾斜の30~40cmほどの幅の小さな溝にも生息の域をもっている。

天然記念物

☺ 郷原町大積川上流

4 しんどうびらじんじや しやせう
新堂平神社の社叢



新堂平神社の社叢は、呉市の高地部の典型的なものであり、タブノキ、クロガネモチ、アベマキ、アラカシ、その他の大木が植栽種、また社叢の構成種であり、巨樹が多く見られる。

☺ 郷原町
♀ 「東神田」バス停下車 約2分

5 しんどうびらじんじや
新堂平神社のシノキ



幹周6m、樹高21m、枝張り東西12m、南北12mで、県下有数の巨樹。「芸藩通志」によれば、新堂平神社は永禄3(1560)年に勧請されており、シノキはその当時からのもつと伝えられている。

☺ ♀ 4と同様

郷原

阿賀

広・仁方

川尻

安浦

下浦刈・浦刈

豊浜・豊

音戸・倉橋

6 にまゆうまよう 二級峡



黒瀬川が浸食によって造りだした美しい渓谷。何段にも及ぶ大小の滝と曲流による造形美と約80の甌穴群が特徴。



郷原町・広町
 ♪「広二級峡」バス下車 約10分

6 二級峡

二級ダム

7 黒瀬街道の常夜燈

「大津江橋」

7 黒瀬街道の常夜燈



明治16(1883)年に開通した山肌沿いの道路(今の旧道)に建てられた常夜燈。高さ2.8mで、御影石が使われ、「明治十六年十二月往来安全」と刻まれている。

郷原町・広町
 ♪「大津江橋」バス下車 約15分

8 ぜにがみいわ 銭神岩



「おおみそかに黄金の鶏がこの岩の上で鳴く」という“金鶏伝説”が伝わる高さ3mの流紋岩の巨大な岩塊。『芸藩通志』に「郷原村、野呂山の内、銭神原にあり、俗伝に除夜に、金鶏石上に鳴く」と記されている。

郷原町
 ♪「グリーンヒル郷原」バス下車 約10分



中央宮原繁原屋

昭和・志願・吉浦

郷原

阿賀

広・仁方

川尻

安浦

下浦刈・浦刈

豊浜・豊

音戸・倉橋

1 かぶらさき
冠崎のヤマモモ



幹周2.5m、高さ15m、枝張り東西15m、南北10mの雌株で推定樹齢は約300年と言われる県内有数の巨樹。



☞ 阿賀南9丁目
☞ 「西冠崎」バス停下車 約10分

冠崎のヤマモモ 1

冠崎神社

観音堂

「冠崎西」

観音崎



4 あが
阿賀のサルスベリ

幹周1.3m、高さ7mのサルスベリの巨樹。家が建てられた約170年前にはすでに大きく育っていたと言われている。老樹であるが、1世紀以上も満開の花を咲かせてきた他に比類を見ない大木。

☞ 阿賀中央1丁目
☞ 「阿賀海岸通」バス停下車 約3分

2 かん だ じんじや しやろう
神田神社の社叢



市街地としては珍しく常緑樹のよく繁茂している社叢で、暖帯林の特長をよく表している。約40種の木本が見られ、植物の種類が多いこと、珍種を含むことで価値が高い。

☞ 阿賀中央1丁目
☞ 「阿賀海岸通」バス停下車 約3分

3 かん だ じんじや えま
神田神社の絵馬



安永7(1778)年に再建された拝殿、絵馬殿に奉納された頼春風や勝海舟のものを含む60点以上の献額絵馬。

☞ ☞ ②と同様

5 あ が こぎぶね
阿賀のお漕船



厳島神社管弦祭で御座船を曳くお漕船。お漕船の乗り手は、阿賀の住吉神社に参拝した後、阿賀港で2艘の船を旋回させ、宮島の厳島神社に向かう。

☞ 阿賀南5丁目
☞ 「阿賀港」バス停下車 すぐ

6 あ が むらきんせいもんじよ
阿賀村近世文書



江戸末期～明治初期の公文書約500点。火番組合や消防関係の記録、新開開拓についての文書が残されている。明治期の大空山砲台の建設や道路整備、社会教育団体の活動記録も含まれる。

☞ 阿賀中央6丁目(阿賀市民センター)
☞ 「阿賀駅前」バス停下車 すぐ

休山トンネル

4 阿賀のサルスベリ

2・3 神田神社

阿賀中央2丁目

185

立光寺

休山トンネル東口

「阿賀海岸通」

「阿賀駅前」

6 阿賀市民センター

阿賀中学校

阿賀小学校

呉市立高等学校

呉市特別支援学校

呉工業高等専門学校

広島化学園大学

阿賀南八郵便局

66

阿賀南6丁目

阿賀南5丁目

「阿賀港」

阿賀のお漕船

呉市立高等学校

呉市特別支援学校

呉工業高等専門学校

広島化学園大学

阿賀中学校

阿賀小学校

呉市立高等学校

呉市特別支援学校

1 しろいと たき 白糸の滝



黒瀬川の河口から約6km上流で合流する小滝川にかかる滝。高さ38m、幅約6mを垂直に落ちる。二級滝(二級峽)を「大滝」と呼ぶのに対して、白糸の滝は「小滝」と呼ばれ、「芸藩通志」にも紹介されている。

📍 広町
🚏 「下石内」バス下車 約20分

2 しろいと たき ようけつぎょうかいがん 白糸の滝の溶結凝灰岩



白糸の滝の周りの青黒い岩石を溶結凝灰岩という。黒耀岩レンズの成層状態が見られる。

📍 🚏 1と同様

3 しんこうじ ほんしゅう 眞光寺の梵鐘



元禄元(1688)年に鑄造された梵鐘。鐘銘に「正覚大音 響流十方 人雄師子 神徳無量...元禄元年戌辰(つちのえたつ)十一月日」とあり、「願主・釋空心(しゃくこうしん)」の名が刻まれている。

📍 広大広2丁目
🚏 「大広」バス下車 約3分

4 ぜんつうじ ちようず 善通寺の手水鉢



縁に多くの盃状穴の刻まれた手水鉢。側面に側面に「元禄式年四月十七日 中嶋」「釋 旂意」の文字が見られる。

📍 広三芦2丁目
🚏 「塩焼」バス下車 約5分

1・2 白糸の滝

5 いろいろおどしはらまき 色々威腹巻



附 総覆輪筋兜鉢 1頭
黒韋威大袖 1双
桐前立挙2段、後立挙2段で、長側は4段の裾搾りの腹巻で、兜・大袖を具した室町時代末期の作。

📍 広大新開3丁目(呉港高等学校)
🚏 「広駅前」バス下車 約5分

6 さんじゅうにけん に ほうしろうほしかぶとほち 三十二間二方白星兜鉢



鉄製三十二枚張二方白星兜で大円山形の兜鉢。眉庇鞆を欠失しているが、全体の形、保存の有効な鎌倉時代末期の貴重な星兜鉢。

📍 🚏 6と同様

7 たけだのぶむねがそう 武田信宗画像



安芸武田氏の遠祖・信宗の肖像画で、南北朝初期の筆と推定される。安芸武田氏は、天文年間(1532~1591)、毛利氏に一旦滅ぼされたが、後に家は支流によって再興され、今日に及んでいる名家。

📍 🚏 6と同様



中央・宮原・森園屋
昭和・天鹿・吉浦
郷原
阿賀
広・仁方
川尻
安浦
下蒲刈・蒲刈
豊浜・豊
音戸・倉橋



KURE

中央・宮原・高田屋
昭和・大庭・吉浦
郷原
阿賀
広・仁方
川尻
安浦
下蒲刈・蒲刈
豊浜・豊
音戸・倉橋



8 道標



市 史跡

明治15(1882)年に造られた広村内の道標の一つ。現在の広本町神社にある道標を村の基準としてこの道標までの距離を測り、さらに隣村までの道のりも計算していた。

☞ 広横路3丁目
☞ 「常盤橋」「東横路」バス停下車 約4分

9 元標(行程標的)



市 史跡

江戸時代に広村に存在していた道標の基準点であり、行程の基点となっていたものが、明治時代に石造りに変えられたもの。

☞ 広本町3丁目
☞ 「南古新開」バス停下車 約2分

10 岩樋水門跡



市 史跡

広村大新開干拓工事のために岩を削り取って樋門(通水門)を造り、汐の干満を利用して生活污水等の悪水を海に流すため建造され元禄2(1689)年に完成した。

☞ 広名田2丁目
☞ 「王子マテリア前」バス停下車 すぐ

11 広青年教育センターの蘇鉄



市 天然記念物

根回り3m、樹高3m、枝張り東西5m、南北5mの巨樹。広長浜専徳寺が創設された室町時代中期(約500年前)に植えられた雌雄一対の雄株。

☞ 広古新開2丁目(広市民センター)
☞ 「広市民センター」バス停下車 すぐ

12 広邑新墾碑



市 史跡

文化8(1811)年に弥生新開を開拓し、新田造成に貢献した多賀谷武兵衛の功績を称えた石碑。碑文は、文化15(1818)年に頼山陽により作成。

☞ ☞ ☞ と同様

10 岩樋水門跡

☞ 「王子マテリア前」

13 広村近世文書



市 有形文化財

江戸末期から明治初期の民政に関する史料約2万点が所蔵されている。

☞ ☞ ☞ と同様

14 盛秋(広村遠景画)



市 有形文化財

昭和初期に呉市出身の画家「朝井清」が描いた広村の遠景画(油絵)。この絵は当時の広村の姿を今に伝える数少ない貴重な歴史的資料。

☞ ☞ ☞ と同様



中央・宮原・森園屋
昭和・天恵・吉浦
郷原
阿賀
広・仁方
川尻
安浦
下蒲刈・蒲刈
豊浜・豊
音戸・倉橋

15 いり え じん じゃ みょう じん さい とも ぶ ね
入江神社明神祭お供舟
(引き舟行事の由来)



嘉永5(1852)年に奉納されたお供舟。海難救助を表した伝統行事に使用されたもの。現在、例祭時には勇壮に装飾されたお供舟が境内に置かれている。



♫ 広長浜2丁目
♀ 「長浜棧橋」バス停下車 すぐ

18 こ つ ぽ か ぐ ら
小坪神楽



起源は愛媛県大三島の大山祇神社の「神楽」にあるといわれている。儀式舞・形式舞の計21種目を演じる12神祇の神楽で毎年10月に奉納される。

♫ 広小坪1丁目
♀ 「こつぽふれあい広場」バス停下車 約3分

15 入江神社

16 住蓮寺

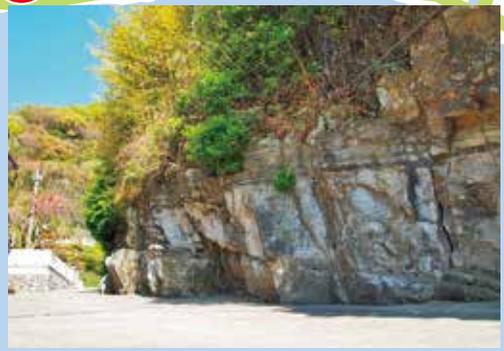
17 石泉文庫之塾・僧叡之墓



18 小坪八幡神社

19 広小坪の褶曲と断層

19 ひろ こ つ ぽ し ゅ う き ゅ ー だ ん そ う
広小坪の褶曲と断層



地殻変動で曲がった地層(褶曲)や断層の様子を観察することができる珍しい地層。古層はジュラ紀(2億1200万年~1億4300万年前)に堆積してできた玖珂層群と呼ばれる地層。



♫ 広小坪1丁目
♀ 「こつぽふれあい広場」バス停下車 約3分

16 う つ の み や も ち り ん お う た ん じ ゅ う ち
宇都宮黙霖翁誕生の地



思想界の先覚者 宇都宮黙霖は、文政7(1824)年に賀茂郡広村長浜の住蓮寺で生まれ、15歳から専徳寺などで勉強をはじめ、漢学、国学、仏学を修めた。

♫ 広長浜3丁目
♀ 「長浜棧橋」バス停下車 約2分

17 せ き せん ぶん こ の じ ゅ く そ う え い の は か
石泉文庫之塾・僧叡之墓



学僧叡に地元有志から寄進された黄檗版の大蔵経及び書庫、私塾及び僧叡の墓。24年にわたり約110名の門弟の教育にあたり、数多くの著述を残した。

♫ 広長浜3丁目
♀ 「長浜棧橋」バス停下車 約7分

20 いそじんじゃ ぐんそう
磯神社のウバメガシの群叢



約200本からなるウバメガシの群叢。境内だけでなく後背地も含めて希少な自然群落として文化的な価値がある。



- 仁方町戸田
- 「小須磨」バス停下車 すぐ

22 や いわばなじんじゃ
八岩華神社のクスノキ



幹周約7.6m、樹高約27mの県下有数のクスノキの巨木。厳島神社の大鳥居の建材として境内に生えていた他のクスノキを奉納したと伝えられ、その切り株は今も八岩華神社に保存されている。



- 仁方西神町
- 「西神町」バス停下車 約5分

23 に がた かいおど
仁方の權踊り



明治の初め、仁方町大東の高本庄助という人が伊勢方面で權踊りを習い、地元に戻って兄弟や有志と踊ったのが始まりとされている。3年に一度、10月の八岩華神社の本祭りで奉納される。



- 仁方本町
- JR仁方駅下車 すぐ

21 いそじんじゃ ふながたいし ちようず ぼち
磯神社の舟形石の手水鉢



舟の形状をした花崗岩製の手水鉢。昔船乗り達が船出の時にこの手水鉢を動かしてその豊漁や吉凶を占ったとの言い伝えもあり、この手水鉢は船乗りの厚い信仰の表れといえる。



- 仁方町と同様

※ らいさんよう がぞう
頼山陽画像



天保3(1832)年、頼山陽の形見として遺すため、門人にして画家の大雅堂義亮によって画かれた肖像画。

※ みとけ しりょう らんがく しりょうとう
三刀家史料(蘭学史料等)



呉地方でただ一人、適塾(緒方洪庵塾=現大阪大学の前身)で西洋医学を学んだ、地元の医師三刀寛一郎が収集、筆録した史料。



中央・宮原・森田
昭和・大庭・吉浦
郷原
阿賀
広・仁方
川尻
安浦
下浦刈・浦刈
豊浜・豊
音戸・倉橋



1 のろさんがんかい **野呂山岩海**
 野呂山山麓の標高400~700m斜面一帯に広がる流紋岩の岩海。岩海のことを「ごうろ」と呼び、「たてごうろ」「よごうろ」と名付けられた一帯は、大自然の景観をなしている。
 市 天然記念物
 川尻町
 川尻駅バス停下車 約90分



2 おおすわじょう **大須和城**
 16世紀頃の水軍の城跡。当時、仁方・川尻では東方の多賀谷氏と西方の乃美氏が共同支配しており、水軍として連携していたと考えられる。
 市 史跡
 川尻町森4丁目
 川尻駅バス停下車 約10分

3 ほうしゃくじごりんとうぐん **宝積寺五輪塔群**
 川尻史によれば、城主戦歴等は一切不明ではあるが室町時代以前の武士の墓であると言われる。
 市 史跡
 川尻町原山1丁目
 川尻駅バス停下車 約20分



5 もくぞうしんらんしょうにんざざう **木造親鸞聖人座像**
 江戸時代中期の作。宝暦12(1762)年10月京都の公家鷲尾大納言より賜ったもの。
 市 有形文化財
 川尻町東3丁目
 清水町バス停下車 約5分



6 けんぽんちやくしよくしんらんしょうにんえでん **絹本著色親鸞聖人絵伝**
 浄土真宗を開いた親鸞聖人にまつわる縁起説話を描いたもので、寛文3(1663)年、東本願寺から光明寺へ贈られたもの。
 県 重要文化財
 川尻町森1丁目
 川尻駅バス停下車 約15分



4 くすのきたいぼく **楠の大木**
 樹高約28m、胸高周囲3.45mの大木。楠は川尻町の町樹であったため、以前は町内にながりの数の大木が存在していたが、伐採により数が減り、現存する希少な大木。
 市 天然記念物
 川尻町森1丁目
 川尻駅バス停下車 約15分

7 ほりこしぎ おんしゃぎ おんまつり
堀越祇園社祇園祭

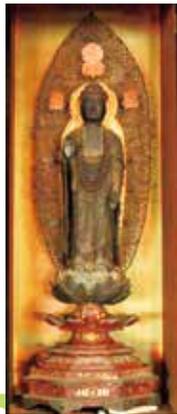


宝永年間の害虫大発生により凶作に困窮する農民の惨状を憂い、久筋の平屋徳右兵衛が享保3(1718)年、堀越祇園社を勧請し始めた祭礼で、以後300年続いている。

△ 川尻町東3丁目
♀ 「清水町」バス停下車 すぐ

市
無形
民俗文化財

9 もくぞう あみだ によらいつぞう
木造阿弥陀如来立像



県
重要
文化財

鎌倉時代末期から室町時代の作。室町時代の金工技法を推知する貴重な作品である。

△ 川尻町久後2丁目
♀ 「清水町」川尻月の浦」バス停下車 約10分

10 もくぞうやくし によらいつぞう
木造薬師如来立像
附 木造日光・月光菩薩立像 2軀
木造十二神将立像 12軀



県
重要
文化財

顔面などの肌の艶消し金色仕上げ、法衣を写実風に作りながらも彫刀の運びの硬直的なところなど、また眼の半眼開き、唇の小さく締まる形相は、室町時代中期頃(15世紀)の作と見られる。

△ ♀ 9と同様

11 もくぞうこんごうりき しりつぞう
木造金剛力士立像



市
有形
文化財

室町末期頃の作。寄せ木造りの玉眼の吽形の力士で処方の込んだ技法が施されている。

△ ♀ 9と同様

9・10・11 真福寺
12 薫風塚

堀越祇園社祇園祭

7

8 川尻のソテツ

川尻月の浦

川尻月の浦

清水町

8 かわじり
川尻のソテツ



根元周囲6.1m、樹高約7mの雌株で、国指定天然記念物のソテツに遜色ない巨樹。

△ 川尻町東3丁目
♀ 「清水町」バス停下車 約2分

県
天然
記念物

12 くんぼうづか
薫風塚



寛文11(1799)年に芭蕉翁百年忌を追悼して建立された。碑文の句は芭蕉翁が京都の帝寂寺で吟んだ句で「松杉を ほめてや 風の薫音」が刻まれている。

△ 川尻町久筋1丁目
♀ 「川尻月の浦」バス停下車 約5分

市
史跡

13 えびす じんじや
胡子神社



社殿に祀られている玉殿は江戸時代中期の建造物であり、玉殿に祀られている祭神「惠比須・大黒」も江戸中期のものと思われる。神社建築としては川尻町最古の建築物。

△ 川尻町小用2丁目
♀ 「小用西」バス停下車 すぐ

市
有形
文化財

13 胡子神社

小用西

川尻小用簡易郵便局

川尻

中央宮原・高岡屋

昭和・宗庵・吉浦

郷原

阿賀

広・仁方

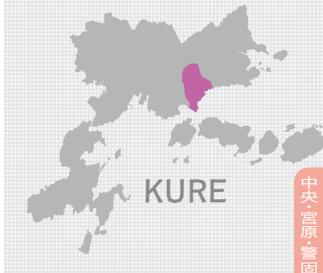
川尻

安浦

下浦刈・浦刈

豊浜・豊

音戸・倉橋



KURE